

ほーほーどり

我孫子野鳥を守る会

No. 182

2005年

1～2月号

明けましておめでとうございます

我孫子野鳥を守る会会長 木村 稔

昨年の秋、(2004年11月)我孫子野鳥を守る会30周年記念事業の「手賀沼の鳥 - 30年間の変遷」が刊行され全ての会員の皆さんに届けられました。また、近隣の学校、図書館、関係機関にも寄贈しました。編纂委員の方々の長期にわたる情熱を傾けた仕事が見事に完成したことに感謝とお祝いを申し上げます。

「手賀沼の鳥 - 30年間の変遷」刊行に伴い、第4回ジャパンバードフェスティバルのシンポジウムでは手賀沼の水鳥をテーマとして取り上げ、編纂委員の間野吉幸さんがパネリストとして手賀沼の水鳥の変遷と現状を発表しました。具体的な数値と傾向グラフは指定湖沼の手賀沼が水質汚濁ナンバー1を脱出したものの、生物を指標に考えたとき手賀沼再生は道半ばだと参加者に実感していただけたと思います。

さて、本誌のデータからみれば現在も水鳥の減少傾向は続いており、今後どういう対策が必要か皆で考えていかなければなりません。水鳥の楽園であった過去の手賀沼周辺は大小いくつもの沼を含む大きな湿地帯でしたがそれが干拓されて水田に変わってきた経緯があります。さらに農法の変化により水田の乾田化が進み生き物の少ない環境になっています。その水田が昔の湿地に代わる役目を果たせるように変えられれば広大な餌場と埒を鳥に提供出来ることとなります。

伝統的な日本の水田は多様な生物の生活場所で生物層の多さは哺乳類・種子植物でイギリスの3倍以上、熱帯のフィリピンに匹敵する豊かさです。しかし、その水田環境の変容がトキ、コウノトリを絶滅させ蛙、トンボを減少させました。近年、米の生産性、経済性を追及し農薬や化学肥料を多用した農法に対し「環境創造型農業」「持続的農業」が日本各地に広がり始めています。具体的には稲刈り後の冬季湛水、不耕起、無農薬、無化学肥料などを組み合わせたものです。良い例が宮城県蕪栗沼で、雁が蕪栗沼一箇所の埒に集中(4万羽)するのを分散させるため、隣接地区の農家が雁のために稲刈り後の田んぼに水を入れたのが始まりで、無農薬、無化学肥料の田んぼに雁や白鳥の飛来と多くの生き物の発生が見られました。そこは、子どもたちの環境教育の場になり、生産された米は安心、安全なおいしい米を望む消費者に付加価値の付いたブランド米として提供されました。地元田尻町では「渡り鳥と農業の共生」を目的に、無農薬・無化学肥料栽培と冬季湛水水田を行う農家に対し、助成金を交付する制度を創設しました。さらに、鳥と景観をアピールして環境省の進める「エコツーリズム推進モデル事業」に乗り出すことになり、ラムサール条約の登録湿地に指定申請することも検討しています。

「コウノトリの保護増殖」を核とした「人と自然が共生する地域づくり」を進めてきた兵庫県豊岡市でもコウノトリと共生する水田づくりが進められています。大型の肉食鳥・コウノトリの餌場や埒・営巣地をつくるために農家による有機農業が不可欠で、化学肥料に頼らない農業技術が研究され、ここでも、冬季湛水水田型稲作田が拡大しています。

地域により、水利や田の生物を相手にする点などで難しい問題もありますが「冬季湛水水田」は環境改善に非常に効果的であることが実証されてきています。手賀沼周辺地域においても自然再生に挑

戦する農家に行政も消費者も一緒に支援することで、我孫子市の掲げる「自然と共存する真に豊かな生活の実現」の一歩になると思います。

今年は鳥年です。鳥を愛する皆様にとって健康で明るい年でありますように祈念いたします。

行 事 案 内

新年探鳥会2005

前号に掲載の案内です

ルート1

期 日 1月2日(日) 雨天中止
集 合 我孫子駅北口広場 午前8時
探鳥地 井頭公園と鬼怒川周辺(栃木県真岡市)
案 内 水辺の鳥と里山の鳥(昨年はアメリカヒドリ、ミコアイサ、ピンズイ、ベニマシコ、マヒワ等54種)
解 散 我孫子駅北口広場 午後5時(予定)
交 通 マイクロバス使用(37人乗り)
持 物 観察用具、雨具、昼食(途中のコンビニで購入可)
費 用 2,500円(バス代等)集合時に徴収します。
備 考 参加者が年々増加していますので本年からマイクロバスを使用します。

ルート2

期 日 1月3日(月) 雨天中止
集 合 我孫子市役所 午前8時
探鳥地 神之池と波崎・銚子海岸
案 内 海鳥とワシ・タカ(昨年はハジロカイツブリ、クロガモ、ミヤコドリ、ハヤブサ、ミサゴ、ミユビシギ等63種)
解 散 我孫子市役所 午後5時(予定)
持 物 観察用具、雨具、昼食(途中のコンビニで購入可)
交 通 自家用分乗です。分乗者は一人1,500円を当日運転手にお渡しください。また、車を提供できる方は担当までお知らせください。
申 込 ハガキ、Tel、Faxで下記担当まで

担 当 猪爪敏夫
〒270-1143
我孫子市天王台5-13-6
Tel、Fax 04-7186-5075

1月手賀沼探鳥会とカウント

期 日 1月9日(日) 雨天中止
集 合 我孫子市役所 午前9時
案 内 今年最初に見ることが出来るのは、なにになるのか楽しみです。手賀沼では水鳥たちの天下です。おおいに期待しましょう。
解 散 正午
担 当 飯島、中野、向井

市民手賀沼探鳥会

期 日 1月23日(日)
小雨実施、荒天中止
集 合 手賀沼親水広場 午前9時
案 内 我孫子市環境レンジャーと共催の探鳥会です。一般市民と一緒に手賀沼遊歩道を歩いての探鳥です。いつもの手賀沼探鳥会と違った楽しみが出来ます。市民の方にバードウォッチングの楽しみ方を伝えましょう。1月は手賀沼周辺で最も野鳥が多く観察される時期です。
解 散 正午
担 当 飯島、染谷、間野

2月手賀沼探鳥会とカウント

期 日 2月13日(日) 雨天中止
集 合 我孫子市役所 午前9時
案 内 カモ類の種類、数が一番多く見られる時期ですが、近年数が減り心配です。今年には回復し、キレイになったカモのディスプレイが数多く見られることでしょう。
解 散 正午
担 当 向井、飯島、中野

春の水鳥と銚子のかもめに出会う会

期 日 3月5日(土)~6日(日)
集 合 JR我孫子駅南口ロータリー 午前8時30分
交 通 今井観光のマイクロバス
宿 泊 ペンション ヴィラ コモンズ (銚子市黒生町 7125-1 (Tel 0479 25-4300))
海を見渡す高台に建つペンションで、こだわった自慢の食事です。
費 用 1人20000円前後(バス代、宿泊代、傷害保険代、雑費込み)
集 合 時に一旦左記の金額で集金し、最終日に精算します。
案 内 3月から4月の銚子港は、カモメの仲間で大賑わいです。カモメ基本種6種や海ガモの仲間と会うことができます。初日には、茨城県から千葉県に至る太平洋岸を南下し波崎町迄の入り江や砂浜に休息している水鳥も散策する予定です。二日目は、犬吠崎、銚子漁港など銚子周辺の探鳥ポイントを散策する予定です。
申 込 1月5日より受付開始。定員18名
飯泉まで
Tel 04 - 7175 - 6017

お申込の方には、申込後詳細案内をお

送りします。
尚、宿舎手配の関係で、一旦参加申込をされ、キャンセルの場合は、キャンセル料を負担いただきます。予めご了承ください。

持 参 観察用具、防寒着、雨具、洗面用具、常備薬など
担 当 飯泉 仁、大久保陸夫、染谷迪夫

幹 事 会

日 時 1月9日(日) 13:15~
(15分早めました。ご注意下さい)
場 所 水の館 研修室
議 題 H17年度上期行事予定
鳥だよりについて
(目的、受付方法、抽出基準等)
会報183号掲載記事について
その他(議題を提出する場合は事務局にご連絡下さい)

事務局

行 事 報 告

J B F 2 0 0 4

ジャパンバードフェスティバル2004が11月6日(土)、7日(日)の両日に亘り親水広場などの4会場で開催されました。出展団体数110団体、二日間の来場者は延べ55,000人でした(実行委員会調べ)。当会も実行委員会の一員として4イベント参加をしましたが、いずれも盛況でした。お手伝いいただいた会員の皆さんへお礼申し上げます。
当会が参加した4イベントの状況を報告します

1. 庭に鳥を呼ぶ(立体展示) - ブース1 -
例年のように中野さんが集められた鳥の好む木の実、草の穂などを揃えた展示には人気

あり、ブースにつるされた木の実、草の実につられ、クイズに挑戦する大人も大勢でした。女性会員数名で作成した満点賞の「鳥のミニチュア」も大好評でした。回答者も毎年増えていて終了間際には、つるした木の実を満点賞として提供して喜ばれました。クイズ参加者は252名、満点は41名でした。西城猛さん製作の餌台も大好評で例年のように完売となりました。

野鳥が好む木の実、草の種などの実物展示
 イヌツゲ、シロダモ、センダン、マユミ、カキ、ゴンズイ、ピラカンサ、モチノキ、アメリカハナミズキ、ノイバラ、クロガネモチ、ムクノキ、クコ、トウネズミモチ、ムラサキシキブ、ネズミモチ、ガマズミ、ゴヨウマツ、トベラ、エンジュ、アオキ、ニシキギ、ナンテン、ヒサカキ、ウツギ、ハンノキ、エノキ、クチナシ、キツタ、カマツカ、アキグミ、ハギ、マンリョウ、モッコク、ツタ、ベニシタン、バラ、ツルウメモドキ、クスノキ、コムラサキ、ミカン、シラカシ、キンカン、サンショウ、サンザシ、センリョウ、サンシュユ
 以上木本47種

セイバンモロコシ、ジュズダマ、ノブドウ、イネ、ヘクソカズラ、コスモス、アオツツラフジ、カラスウリ 以上草本 8種

野鳥クイズ

ブースを訪れた人に10問100点満点の野鳥クイズに挑戦してもらった。満点賞として会員手作りの鳥のミニチュア(紙粘土に彩色)を贈呈した。また、回答者全員に景品を出した。

<野鳥クイズ成績>

得点	性別		合計	居住地	
	男	女		我孫子	その他
100	19	22	41	24	17
90	19	28	47	29	18
80	12	39	51	22	29
70	22	28	50	22	28
60	10	18	28	11	17
50	8	11	19	9	10
40以下	5	11	16	9	7
合計	95	157	252	126	126

パンフレット配布

- ・「バードケーキを作ろう」材料および完成品付き
- ・「野鳥を庭に呼んでみよう」

パネル展示

- ・「バードケーキの作り方」
- ・「庭に来る鳥18種」
- ・「庭に鳥を呼ぶための方法」
- ・「餌台の作り方」
- ・「実のなる木を植えよう」

手作り餌台、巣箱の頒布

餌台(1,000円)40個、巣箱(800円)10個を完売した



2.手賀沼の鳥 オオバンは 今(展示、ミニ講座) - ブース2 -

当会の設立30周年を記念して出版した「手賀沼の鳥」の調査結果に基づき、手賀沼の水鳥の変遷を分かりやすく紹介するパネル展示(写真とグラフ)を行うとともに、パソコンとプロジェクターを用いて解説するミニ講座を行いました。講座時間は15分~20分程度。椅子を10脚用意しましたが、毎回立ち見が出るほど好評でした。



3. 噴水前バードウォッチング(定点観察)

2日ともぼかぼか陽気に恵まれ、噴水前ウォッチングは人が途切れることが少なく賑わいました。

今年になって現れたバリケンに「あの鳥は何という鳥ですか」と尋ねる人が続出しました。スコープを初めて覗く人も多く、肉眼では見えない鳥をスコープで見て驚く人が沢山いました。

<認めた鳥>

・両日とも認めた鳥 28種

アオサギ、アオジ、オオバン、オナガガモ、カイツブリ、カナダガン、カルガモ、カワウ、カワラバト、カワラヒワ、ゴイサギ、コガモ、コサギ、コブハクチョウ、スズメ、セグロカモメ、ダイサギ、チュウヒ、ハクセキレイ、ハシブトガラス、ハシボソガラス、バリケン、バン、ヒヨドリ、マガモ、ミサゴ、ムクドリ、ユリカモメ

・6日のみ認めた鳥 5種

カワセミ、セグロセキレイ、ホシハジロ、メジロ、モズ、

・7日のみ認めた鳥 4種

シジュウカラ、ヒドリガモ、ヨシゴイ、キジバト

合計 37種 (番外を含む)



4. 湖上バードウォッチング

遊覧船から手賀沼を周遊する探鳥会。一周の所要時間は約 60 分でした。毎回希望者が多く定員オーバーで参加できない方が出ました。

<参加状況>

	11月6日(土)			11月7日(日)	
出船時刻	11:00	13:00	15:00	11:00	15:00
乗船人員	34名	35名	39名	38名	34名
認めた鳥	23種	24種	19種	22種	21種



5. 手賀沼水鳥シンポジウム に参加して ～ 田んぼと水鳥～

桑森 亮

JBF の2日目、11月7日(日)アビスタにおいて、手賀沼水鳥シンポジウム が「田んぼと水鳥」をテーマに開催されました。元筑波大学教授の遠藤氏をコーディネーターに、4名のパネラー、「守る会」木村会長の司会により運営され、「守る会」からは間野さんがパネラーとして参加されました。

パネラーのトップバッターとして、間野さんが「守る会」の27年にわたる観察結果をもとに手賀沼の水鳥の現状と課題について報告されました。パワーポイントを駆使して大量のデータを図表で示され、大変解かりやすく説得力がありました。実に堂々たる立派な発表で、間野さんと「守る会」のこれまでの活動に感服しますとともに、私自身も入会してまだ日が浅い身ですが会の一員として誇らしく感じました。

間野さんの報告の要旨は、手賀沼の水鳥の総個体数は増減を繰り返しながら全体では減傾向にあり、個体数割合が優先するカモ科、クイナ科のマガモ、カルガモ、ハシビロガモ、コガモ、オオバンが減少、逆に、ウ科、カモメ科の割合が増加している。原因としては、北千葉導水事業により沼の水質が向上しプランクトンが減少、導水により水に流れができ休息地に適した水面環境が減少、沼周辺の土木工事の影響

10月手賀沼探鳥会とカウント

などが考えられる。というものでした。

他のパネラーからは、石川県加賀市の片野鴨池、宮城県田尻町の蕪栗沼における、水田に冬期湛水し(冬水田んぼ)、ガンカモ類の生息環境をつくることによる、農業者と連携した環境共生型の米作りの成功事例、「谷津ミュージアム」など千葉県における伝統的な水田、周辺環境の整備による生物多様性の復活への取り組みが報告されました。

一般参加者は70名位いたと思いますが、質疑応答では、日ごろ手賀沼の水鳥を観察されている方々からは水鳥減少の原因など、多くの熱心な質問が出され、大変活発でした。

私自身は、このような鳥に関するシンポジウムに初めてでしたが、野鳥をはじめとする動植物と自然環境、農業など人間社会との相互関連、共生について学び、考える良い機会になりました。

水鳥が安心して暮らせる環境づくりには、野鳥保護団体だけでなく農業者、行政、消費者、NGOなどが連携し、一体となって取り組むことが必要だと思います。手賀沼がかつてのようにカモやオオバンで真っ黒になり、ガン類が復活する日を願い、報告とします。

【行事に参加した会員】

11月5日(金)ブース設営、レセプション

11月6日(土)、7日(日)行事実施と延べ74名の会員の参加をいただきました。

<参加者>

飯島 博、飯泉 仁、飯泉久美子、猪爪敏夫、榎本 右、大久保陸夫、川上 貢、北原建郎、木村 稔、桑森 亮、小玉文夫、小玉信子、小林寿美子、西城 猛、佐々木隆、島崎純造、鈴木清治、諏訪哲夫、染谷迪夫、田中 功、谷山晴男、田丸喜昭、田丸メリールイス、中尾葉子、中西英子、中野久夫、西巻 実、野口幸子、野口紀子、野口紀恵、松田幸保、間野吉幸、宮下三禮、向井章雄、向井治子、武藤康之、山本貞江、吉田隆行

調査日時 2004年10月10日 9:00~12:00

曇り、風弱

<探鳥班> 佐々木 隆、西巻 実、間野吉幸、北原建郎、猪爪敏夫、飯島 博、向井章雄、向井治子、宮下三禮、田丸メリールイス、中尾葉子、染谷迪夫、竹内英子、島崎純造、中野久夫、大久保陸夫、川田光男、谷山晴男、榎本 右、常盤孝義、桑森 亮、植田啓介、佐藤弘美、岩田孝之、木村 稔、武藤康之、高橋敏彦
計27名

<認めた鳥> カイツブリ、カワウ、ゴイサギ、アマサギ、ダイサギ、チュウサギ、コサギ、アオサギ、コブハクチョウ、カルガモ、コガモ、オナガガモ、ミサゴ、チョウゲンボウ、バン、オオバン、イソシギ、アオアシシギ、ユリカモメ、セグロカモメ、キジバト、カワセミ、ヒバリ、ツバメ、ハクセキレイ、セグロセキレイ、ヒヨドリ、モズ、カワラヒワ、ムクドリ、スズメ、ハシボソガラス、ハシブトガラス
計33種

<カウント班> 飯泉仁、飯泉久美子

調査種	上沼	下沼	合計
カイツブリ	3	10	13
カワ	10	97	107
ゴイサギ		1	1
アマサギ	1	14	15
ダイサギ	1	8	9
コサギ	4	11	15
アサギ	4	1	5
コブハクチョウ		11	11
マガモ		1	1
カルガモ	10	73	83
コガモ	10	109	119
キジバト		1	1
オオバン	1	3	4
ユリカモ	3	40	43
セグロカモ		1	1
水鳥計	47	381	428

特記事項 前日の台風22号で増水

11月手賀沼探鳥会とカウント

調査日時 2004年11月14日 9:00~12:00

曇り、風弱

<探鳥班> 柴本三弘、清岡万紀子、小林秀美、北原建郎、島崎純造、向井章雄、向井治子、谷沢幸次、小川克子、宮下三禮、染谷迪夫、野口隆也、飯島 博、諏訪哲夫、谷山晴男、大久保陸夫、川田光男、間野吉幸、榎本 右、常盤孝義、吉田隆行、小池忠彦、小池共美子、中尾葉子、植田啓介、橋本 清、八木よし子、田中 功、桑森 亮、猪爪敏夫、中野久夫、首藤佑吉、木村 稔、岩田孝之、岩田マキエ、野口紀子、野口紀恵

以上37名

<認めた鳥> カイツブリ、カンムリカイツブリ、カワウ、ダイサギ、コサギ、アオサギ、コブハクチョウ、マガモ、カルガモ、コガモ、オカヨシガモ、ホシハジロ、スズガモ、オナガガモ、ミサゴ、チョウゲンボウ、バン、オオバン、ケリ、タゲリ、ユリカモメ、セグロカモメ、キジバト、カワセミ、ハクセキレイ、タヒバリ、ヒヨドリ、モズ、ジョウビタキ、ウグイス、メジロ、ホオジロ、アオジ、オオジュリン、カラヒワ、スズメ、ムクドリ、ハシボソガラス、ハシブトガラス

計39種

<カウント班> 飯泉仁、飯泉久美子

調査日時 2004年11月10日 13:50~16:00

晴れ、風無(今月は探鳥班とカウント班の調査日時が異なります)

調査種	上沼	下沼	合計
カイツブリ	20	21	41
カムリカイツブリ	4	4	8
カウ	11	179	190
ダイサギ	3	6	9
コサギ	2	8	10
アオサギ	13	4	17
コブハクチョウ		14	14
マガモ	34	23	57
カルガモ	161	146	307
コガモ	76	102	178
オカヨシガモ	22		22

ヒドリカモ	1		1
オカガモ		87	87
ハシカモ	1		1
キクドリ	2		2
バン		1	1
オオバン	14	19	33
タゲリ		2	2
ユリカモ	24	72	96
セグロカモ	1	1	2
水鳥計	389	689	1,078

雨の伊良湖

されど果敢に探鳥せり!

10月2日~3日 清岡万紀子

7時前晴天の我孫子を後に、自然、事故、工事渋滞に見舞われながら、一路伊良湖へ。渥美へ入るとみな希望も空しく雨が降り出した。webの天気予報では土曜曇り、日曜曇りのち雨だったのに。4時近くに恋路が浜着。恨めしく天を睨んだのが通じたのか、雨はあがった。いるいるたくさんのバーダーが。座り込んでいる様子では、タカの動きはなさそう。それでもまず探鳥を。「あれは、サシバだ」はるか山の上にシルエット。どうして解るの? 5,6羽が羽ばたいている。歩き始めると、地元のおじさんが「今日はもう飛ばないよ。明日飛ぶから朝一でおいで、夜明けだよ」と。よし、明日だ。2本の電信柱にイソヒヨドリの雌雄がいた。薄暗い中でも色の違いが見て取れる。お日様の下ならきっと綺麗なんだろうな。「あれは?」「ノビタキ」我孫子でも見たはずなのに、北海道でさんざん夏羽を見てきた目には違う鳥みたい。たまにしか探鳥しない素人の悲しさ。いえ、不勉強さ。一時間ほど歩きホテルへ。明日のタカ柱を祈念しつつ(?)ミズトリ会。のち、外へ出た折りにヨタカの声を聞く。5時。起きるぞ~! あれっ、ウツソ~、雨じゃん。ガックリしつつも露天風呂へ。気を取り直し屋上へあがると、みなさん準備万端で待機。さすが。向いの山の枯れ枝上に、タカが止まっている。あっ、15,6羽が一斉に舞い上がった。懸命に羽ばたく。行く

のか・・・、行け～！ダメだっ気流がない。乗れない。また枝の上に舞い戻る。無念の涙を飲みながら出発。雨が降りしきる中、田原地区に行きシギ・チとカモ類を探鳥。カモ類はまだ少ない。一本の木の枝々に大輪の花を付けたようにシラサギが止まっている。「ここは俺の場所だ。どけっ」とばかりに、チュウサギを足蹴にするダイサギ。群をなして飛ぶアオサギ。河原では、ダイゼン、イソシギ、ソリハシシギが蟹をついばみ、遠い堤防の上にはハウロクシギが羽を休めていた。タカの渡りに出逢えず、幹事さんはさぞやご心痛だったこととお察しいたしますが、結果は楽しい思い出いっぱいのお泊まり会。お疲れさまでした。そして有り難うございました。

<参加者> 大久保陸夫、中野久夫、間野吉幸、諏訪哲夫、西巻 実、川上 貢、宮下三禮、清岡万紀子、猪爪敏夫、染谷迪夫、松田幸保、鈴木静治、一番ヶ瀬国彦、吉田隆行、小林秀美、中西栄子、田中 功、植田啓介、佐々木隆、島崎純造、桑森 亮、笹川昭雄、木村 稔、北原建郎 以上24名

<認めた鳥>
カイツブリ、オオミズナギドリ、カワウ、ウミウ、ゴイサギ、ダイサギ、チュウサギ、コサギ、アオサギ、カルガモ、コガモ、ヒドリガモ、オナガガモ、トビ、サシバ、ハヤブサ、チョウゲンボウ、バン、ダイゼン、ケリ、アオアシシギ、キアシシギ、イソシギ、ソリハシシギ、ハウロクシギ、ウミネコ、キジバト、アオバト、ヒメアマツバメ、アマツバメ、カワセミ、ショウドウツバメ、ツバメ、ハクセキレイ、ヒヨドリ、モズ、ノビタキ、イソヒヨドリ、ウグイス、メジロ、ホオジロ、スズメ、ムクドリ、ハシボソガラス、ハシブトガラス、ヨタカ 計47種
(番外) カワラバト、コジュケイ

柏市立中原小学校の探鳥指導

10月4日(日)

島崎純造

今年も中原小学校4年生(60名)が手賀の丘少年自然の家でのネイチャースクールの一環として、バードウォッチングをしたいとのことで協力要請がありました。10月4日(月)の日程

等が決まったのが9月下旬だったので、急遽メ-リングリストで参加者を募り、なんとか6名(猪爪、木村、島崎、首藤、松田、中野)を確保できました。

さて、当日は朝から雨模様の悪天候、14:30の開始時刻ぎりぎりまで望みをつなぎましたが、結局中止としました(連日の雨で足元が悪く危険、暗く、寒くなり、鳥も期待できない)、雨天時は屋内での学習で、木村会長と私が「手賀沼の話」の後、「あなたの愛鳥度をテストする」(日本鳥類保護連盟作成)クイズを実施しました。

手賀の丘公園と手賀沼の探鳥会を楽しみにしていた子供たちには気の毒でしたが、後で可愛いお礼状がたくさん届き、すこし気が休まりました。

手賀沼クリーン作戦

10月10日(日)

島崎純造

前日は台風22号が関東を直撃し、大荒れだったが、この日は無風、曇り空だった。

午前中の定例探鳥会で下見して、今回は下沼に決めた。手賀大橋東側の梨直売所脇から入った舗装道路をハス田まで、両側のゴミを集めた。皆さん、軍手に火ばさみ、ゴミ袋と拾い屋スタイルが身につけてきた。

道路は至るところ水溜り、草にかくれて目立たなかったが、探せば空カン、ペットボトル、弁当ガラなどが次々に出てくる。片手では持ち上がらないほど重い鉄製品を見つけた人もあり、集積場所にはビニール袋30コの山ができた。13:15から約1時間汗を流し、気分良く流れ解散した。おつかれさまでした。

<参加者> 飯島 博 飯泉 仁 飯泉久美子、猪爪敏夫、大久保陸夫、川田光男、北原建郎、木村 稔、桑森 亮、佐々木隆、島崎純造、染谷迪夫、高橋敏彦、谷山晴男、中野久夫、西巻実、野口幸子、野口紀子、野口紀恵、間野吉幸、宮下三禮、向井章雄、向井治子

以上23名

仲間入り相談会

11月21日(日) 島崎純造

市民活動サポートセンターが主催した市民活動スタートセミナーで、市民団体が合同で行う会員募集説明会「仲間入り相談会」に首藤佑吉さんと二人で参加しました。

会場のアピスタ第2学習室には市内の15団体がデスクを並べ満室状態、活動状況等を説明するパンフレットやパネルを用意してお客を待ちました。当日はミニホールで講演会も行われたのですが、初の試みでPR不足か、来場者が殆どなく失敗でした。

当会のデスクを訪れた人は、僅か3人、期待はずれの結果に終わりました。ねらいはよかったと思われませんが、残念!

幹事会報告

日時 11月14日(日) 13:30~16:00

場所 水の館 研修室

議題 会報182号の掲載予定

第2四半期決算

芋煮会について

JBF2004実施状況

「手賀沼の鳥」配付状況

事務局

お知らせ

<「手賀沼の鳥」発刊>

会は1994年「手賀沼の鳥 20年の観察記録」を刊行し、関係各方面から多くの反響を得ましたが、その後も観察、調査を継続し、発足30周年を迎えた2002年に記念事業として編纂作業を開始した「手賀沼の鳥」が「ジャパン・バード・フェスティバル2004」開催直前に刊行されました。本書は30年以上にわたって尽力された関係各位の、地道な積み重ねが生み出した会の歴史に大きな足跡を残すものであり、手賀沼の水鳥と周辺の環境の変遷について関心を寄せる多くの人達に貴重な情報を提供するも

のです。刊行にあたり、会員に配布するほか報道機関、公共機関、図書館、学校、鳥類関係の団体に寄贈しました。また、記者発表を柏市役所内記者クラブで11月2日木村会長ほか編纂、広報担当者が出席して行いました。なお、本書は「我孫子鳥の博物館」において一部3千円で販売しています。

<出版の紹介>

宮下三禮さんと、野口幸子さんが「岡発戸の野草」、「続・岡発戸の野草」をそれぞれH12年2月、H16年12月に自費出版されました。ここ数年、我孫子の自然を愛する人々の注目をあびている「岡発戸の里山」を歩いてきたお二人が撮りためた写真、描きためたスケッチ集です。どちらも里山ミュージアム形成以前の作品がほとんどです。我孫子市アピスタ、湖北、布佐の図書館に収めてあります。

<御礼>

三神鶴吉様より、手賀沼の鳥の費用の足しにと、ご寄付を頂戴しました。厚く御礼申し上げます。(会計幹事 北原)

<新会員紹介>

信沢正一さん(柏市在住)

千野 繁さん(牛久市在住)

投稿のお願い

会員の皆さんからの探鳥記、楽しい話題、スケッチ、写真等の投稿をお待ちしています。

投稿先 小玉文夫

〒270-1144 我孫子市東我孫子1-28-8

Fax 04-7139-8260

鳥だより

- | | | | |
|-------|------------------------------------|-----------|-----------|
| | | | 中野久夫・金成典知 |
| 07.16 | [柏の葉公園] ヨシガモ(1) | 笹川昭雄 | |
| 08.02 | [高野山] サバ(1)飛翔 | 笹川昭雄 | |
| 08.09 | [寿] ツバ(1)巡回飛翔 | 笹川昭雄 | |
| 08.12 | [高野山] サバ(5)飛翔 | 笹川昭雄 | |
| 09.22 | [北新田] 材木(1)幼鳥、杭上、チョウノボウリにからまれる | 中野久夫・金成典知 | |
| 09.22 | [北新田] チョウノボウリ(1)杭上の材木の周りを鳴きながら飛び回る | 中野久夫・金成典知 | |
| 09.23 | [弁天下] 蚊(3)2号排水路で採餌 | 中野久夫 | |
| 09.23 | [北新田] 兀(1)越流堤横の珪原で | 中野久夫・金成典知 | |
| 09.24 | [北新田] ヒ(5)帆翔 | 中野久夫 | |
| 09.24 | [北新田] 材木(1)河川敷樹上から飛去 | 中野久夫・金成典知 | |
| 09.24 | [北新田] ノリ(1)排水栓上から飛去 | 中野久夫・金成典知 | |
| 09.24 | [北新田] チョウノボウリ(1)物色飛翔 | 中野久夫・金成典知 | |
| 09.28 | [北新田] ハブサ(1)飛翔 | 戸谷輝夫・満智子 | |
| 09.28 | [北新田地先] ノリ(2)飛翔 | 戸谷輝夫・満智子 | |
| 09.28 | [弁天下] トビ(1)飛翔 | 戸谷輝夫・満智子 | |
| 09.29 | [北新田] ヒ(1)河川敷上を飛翔 | 中野久夫・金成典知 | |
| 09.29 | [北新田] 兀(3)越流堤横の珪原で | 中野久夫・金成典知 | |
| 09.30 | [高野山] コムドリ(5)採餌中 | 笹川昭雄 | |
| 09.30 | [高野山] チョウノボウリ(1)物色飛翔 | 笹川昭雄 | |
| 09.30 | [高野山] サバ(2)巡回飛翔 | 笹川昭雄 | |
| 09.30 | [北新田] ヒ(5)利根川堤防付近を飛翔 | 中野久夫・金成典知 | |
| 09.30 | [北新田] 材木(1)飛翔、チョウノボウリにからまれる | 中野久夫・金成典知 | |
| 09.30 | [北新田] チョウノボウリ(1)飛翔、材木の周りを飛び回る | 中野久夫・金成典知 | |
| 09.30 | [北新田] 蚊(5)2号排水路で休息 | | |
| 10.01 | [古戸] ミコ(1)採餌飛翔 | 松田幸保 | |
| 10.01 | [あけぼの山公園] サコチヨウ(1)、さくら山の斜面林中 | 中野久夫 | |
| 10.01 | [北新田] ヒ(5)水田・堤防上で物色・採餌 | 中野久夫・金成典知 | |
| 10.01 | [北新田] 材木(1)河川敷柳上から飛立ち | 中野久夫・金成典知 | |
| 10.01 | [北新田] チョウノボウリ(1)柵に絡む | 中野久夫・金成典知 | |
| 10.01 | [北新田] アオシギ(1)4号排水路上を飛翔 | 中野久夫・金成典知 | |
| 10.01 | [北新田] 蚊(5)耕田から飛立ち | 中野久夫・金成典知 | |
| 10.01 | [北新田] 兀(6)利根川堤防付近を移動 | 中野久夫・金成典知 | |
| 10.02 | [東中新宿] チョウノボウリ(1)自宅上空を通過 | 飯泉久美子 | |
| 10.06 | [岡発戸新田] キ(2)採餌 | 大久保陸夫 | |
| 10.06 | [岡発戸新田] キツキ(1)採餌 | 大久保陸夫 | |
| 10.06 | [高野山] ヒ(5)巡回飛翔 | 笹川昭雄 | |
| 10.06 | [高野山] アオシギ(3)飛翔 | 笹川昭雄 | |
| 10.06 | [北新田] 兀(2)2号排水路横草地上 | 中野久夫・金成典知 | |
| 10.07 | [北新田] ヒ(2)物色飛翔 | 中野久夫・金成典知 | |
| 10.10 | [北新田] ノリ(1)物色飛翔 | 中野久夫・桑森典知 | |
| 10.14 | [北新田] 兀(1)農道横の草地 | 中野久夫・金成典知 | |
| 10.15 | [北新田] ノリ(1)飛翔 | 中野久夫 | |
| 10.15 | [北新田] ヨイトリ(1)ムクロの群れ中 | 中野久夫 | |
| 10.16 | [鷺野谷新田] チョウノボウリ(1)柵リング飛翔 | 桑森 亮 | |
| 10.16 | [北新田] ヒ(3)利根川河川敷の柳上1、電柱上2 | 中野久夫・金成典知 | |
| 10.16 | [北新田] 材木(1)利根川河川敷の柳上 | 中野久夫・金成典知 | |
| 10.16 | [北新田] ノリ(1)物色飛翔 | 中野久夫・金成典知 | |
| 10.17 | [中峠利根川上空] トビ(1)飛翔 | 桑森 亮 | |

10.18	[北新田]	ノリ(2)利根川河川敷の柳上 中野久夫・金成典知	11.02	[北新田]	トビ(1)電柱上 中野久夫
10.18	[北新田]	ル`舛(1)2号排水路土手で 中野久夫	11.02	[北新田]	ノリ(1)利根川堤防の標識条 中野久夫
10.18	[手賀沼]	ヲ(1) 飯泉 仁・久美子	11.02	[北新田]	ヲウ`ノ`ウ(1)物色飛翔 中野久夫
10.18	[手賀沼]	ヲウ`ノ`ウ(2)カラスにモビ グされた後電線に止まる 飯泉 仁・久美子	11.03	[北新田]	ヲウ`ノ`ウ(1)樹上 桑森 亮
10.18	[名戸ヶ谷]	ヲウ`ノ`ウ(2)上空を飛翔し ていた 飯泉 仁・久美子	11.03	[北新田]	ヲウ`ノ`ウ(1)電線 桑森 亮
10.19	[北新田]	ヒ` (1)カスに絡まれながら東 へ飛翔 中野久夫	11.03	[北新田]	トビ(3)飛翔 桑森 亮
10.19	[北新田]	ノリ(1)利根川河川敷の柳上 中野久夫	11.03	[北新田]	ノリ(1)樹上 桑森 亮
10.19	[北新田]	ヲウ`ノ`ウ(1)電柱上 中野久夫	11.03	[中峠]	ヒ` (1)飛翔 桑森 亮
10.22	[湖北台 4]	ワウ(1)鳴き声 赤尾 完	11.03	[花野井]	ノリ(1)飛翔 向井章雄・治子
10.22	[北新田]	コハヲウ(2)耕田で採餌 中野久夫	11.03	[花野井土手]	ヲウ`ノ`ウ(1)飛翔 向井章雄・治子
10.23	[五本松公園]	ヤマガ`ラ(2)樹上 桑森 亮	11.03	[手賀新田]	ハブ`サ(1)電柱から飛立ち 中野久夫
10.23	[東我孫子]	ヤマガ`ラ(1)樹上 桑森 亮	11.03	[北新田]	ヲウ`ノ`ウ(1)電柱上 中野久夫
10.24	[北新田]	ヲウ`サ(6)耕田で採餌 中野久夫	11.07	[北新田]	オカ(1)越流堤横の樹上 中野久夫
10.24	[北新田]	ヲウ`サ(1)耕田で採餌 中野久夫	11.08	[北新田]	ヒ` (1)帆翔 中野久夫
10.25	[東我孫子]	ヤマガ`ラ(3)飛翔 小玉文夫・信子	11.08	[北新田]	ノリ(3)帆翔 中野久夫
10.26	[北新田]	ル`舛(1)越流堤横原 中野久夫・金成典知	11.08	[北新田]	ヲ(1)飛翔 中野久夫
10.27	[北新田]	ハブ`サ(1)物色飛翔 西巻 実	11.08	[北新田]	ヲウ`ノ`ウ(1)飛翔 中野久夫
10.27	[北新田]	オカ(1)休息 西巻 実	11.08	[東中新宿]	ツ`ミ(1)7:00 すぎ上空を鳴 いて通過 飯泉 仁
10.27	[布施下]	カサ`キ(10)排水路から飛立 中野久夫	11.09	[上沼田]	ヲウ`ノ`ウ(1)飛翔 染谷迪夫
10.29	[手賀丘公園]	ヤマガ`ラ(1)樹上採餌 桑森 亮	11.13	[北新田]	ヒ` (2)旋回飛翔 桑森 亮
10.30	[手賀丘公園]	ヤマガ`ラ(数羽)樹中,樹上 桑森 亮	11.13	[北新田]	ノリ(1)旋回飛翔 桑森 亮
10.30	[手賀丘公園]	ヤマガ`ラ(3)樹上採餌 桑森 亮	11.13	[花野井土手]	ノリ(3)物色飛翔 向井章雄・治子
10.31	[岩井]	ヲ(1)芦原より飛翔 飯島 博	今回の観察者の投稿件数		
11.01	[北新田]	ノリ(1)杭上,樹上採餌 桑森 亮	赤尾 完	1	首藤祐吉 11
11.01	[北新田]	ヲウ`ノ`ウ(1)樹上から飛翔 桑森 亮	飯島 博	2	諏訪哲夫 3
11.02	[手賀新田]	ヲウ`ノ`ウ(1)電柱上	飯泉久美子	3	染谷迪夫 2
			飯泉 仁	8	戸谷輝夫・満智子 6
			飯泉仁・久美子	36	中野久夫 49
			大久保睦夫	15	中野久夫・桑森亮 48
			北原建郎	1	西巻 実 4
			桑森 亮	33	松田幸保 15
			小玉文夫・信子	2	向井章雄 3
			笹川昭雄	19	向井章雄・治子 5

